（別紙4（2））

事業所名　グループホーム朝日

作成日：　平成23年12月24日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の本質を理解していない職員もいる為、全職員が理解し共有できるようになると良い。	理念の本質を具体的に話し合い、全職員が共有することでケアへの意識を統一し実践する。	全職員が1人ひとりの楽しみを考え共有できる様に日々の生活の中での会話の内容を記録に残しそれを職員会議で具体的に話し合い意識を統一していく。	6ヶ月
2	2	職員だけでなく地域住民に対しも、認知症について知ってもらい理解を得てもらう。	地域住民の方にも認知症の理解を得てもらう為の情報発信を行う。	地域交流会を継続して行い地域住民の方にも認知症の人と接する機会を作ったり、認知症サポーターの講座等に参加して頂ける様に情報を発信していく。	6ヶ月
3	6	身体拘束や高齢者虐待について具体的に話し合いを行う為に事例検討会等を行い職員全体の意識統一を行う必要がある。	身体拘束や虐待についての勉強をし職員1人ひとりの意識を高め、職員全体の意識統一を行う。	身体拘束や虐待について会議の中で勉強会や事例検討等を行い、具体的にどのような弊害が起こるのか職員一人ひとりが考える機会を作る。	6ヶ月
4	26	職員全員で定期的にモニタリングを行い、介護計画への反映や実践をする必要がある。	カンファレンス等でモニタリングを行い介護計画や実践につなげていく。	カンファレンスでモニタリングを行い、職員1人ひとりの気づきを話し合い介護計画へ反映させていく。	6ヶ月
5	33	「重度化したときの確認書」について、職員間での話し合いが出来ず、重度化した時の対応について統一をしていく必要がある。	「重度化したときの確認書」を使い職員全員が利用者一人ひとりの重度化したときの対応を周知し統一できる様にする。	職員会議で「重度化したときの確認書」を利用し、職員全員が家族の要望や重度化したときの対応を周知し統一できる様に話し合いを行う。	6ヶ月
6	40	食事の献立が同じ様な物になりがちなので利用者の好みの献立を取り入れた物にしていく。	利用者の希望を聞きながら食事の献立を変更し利用者の好みの献立を取り入れていく。	日頃の会話の中から利用者の食べたい物等をを聞いたり、調理方法について話をしながら食事の献立を変更し利用者の好みを取り入れていく。	6ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。